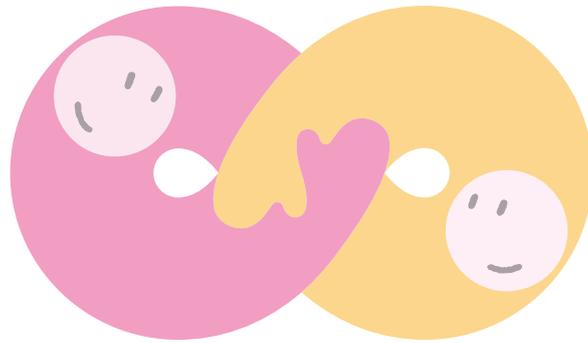


2018 JUNE / Vol.7

フジ・メディア・ホールディングスは多様なメディアの集合体です。
各社業態は異なりますが、CSR [社会貢献] 活動における共通の思いは

「創造する力」を通じて人と人をつなぎ 笑顔をつくること

社会の一員としてどんな社会課題の解決に結びつけられるかを
常に考え、行動し続けます。



つなげる笑顔 つながる心

メディアの力でできること∞
無限大

〈 CSRスローガン 〉

2018年4月 フジ・メディア・ホールディングスは、 国連グローバル・コンパクトに署名しました。

WE SUPPORT



国連グローバルコンパクトとは

各企業・団体が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに参加する自発的な取り組みです。1999年の世界経済フォーラム（ダボス会議）の席上でコフィー・アナン国連事務総長（当時）が提唱し、アン

トニオ・グテーレス現国連事務総長も継続支持を表明しているイニシアチブで、2018年3月時点で世界約160ヶ国・1万3,000の団体（そのうち企業が約9,700）が署名し、「人権」・「労働」・「環境」・「腐敗防止」の4分野・10原則を軸に活動を展開しています。

各社メディア企業の 強みを活かした 多様なCSR活動を展開



■ 深刻な現状を映像で伝え、環境問題について考えるきっかけを提供

フジテレビジョン



海面上昇によって沈みゆく島で海を見つめる少女



気温が50度を超える砂漠で
10キロの道のりを歩き水汲みする少女

環境ドキュメンタリー番組 『環境クライシス ～沈みゆく大陸の環境難民～』を放送

地球上で急速に進む気候変動

パキスタンからインド北西部にかけては、2017年以降断続的に熱波が発生、最高気温53.5度が観測されています。日本でも各地で猛暑やゲリラ豪雨に見舞われています。こうした異常気象は、気候変動が原因の一部と言われており、経済大国となりつつあるインドでも、気候変動に伴う洪水や海面上昇・干ばつなどの被害が起きています。そんな現状をリアルに映し出すドキュメンタリー番組『環境クライシス』では、苦しくてもたくましく生きる子どもたちの姿や、地球温暖化に対し日本が取り組んでいるプロジェクト等も取材・放送しました。

● 放送日：2017年8月19日 10時25分～11時45分

当番組がCOP23のジャパンパビリオンで特別上映



11月6日～17日にドイツのボンで開かれたCOP23[国連気候変動枠組条約第23回締約国会議]で、『環境クライシス～沈みゆく大陸の環境難民～』が、日本政府主催のジャパンパビリオンで上映されました。これは日本のメディアとして初めてのことで、上映会は多くの来場者で満席となり、映像で映し出される深刻な現状に釘づけになっていました。

■ 第2弾も放送!

『環境クライシス ～凍てつく大地の環境難民～』

『環境クライシス』の第2弾は、首都ウランバートルが大気汚染に悩まされているモンゴルを取材。背景には「ゾド」と呼ばれる異常気象がありました。家畜が大量死し、生活を脅かされた遊牧民が環境難民となって都会へ。大気汚染の原因は、彼らの住居・ゲルの中で燃やした石炭の煙でした。



● 放送日：2018年5月26日 15時30分～16時30分

■オリジナルの被災地復興支援活動を継続展開

フジテレビずとおうえん。プロジェクト

フジテレビでは、2011年から被災地復興支援活動を継続して行っています。2017年度は九州北部豪雨で被災した福岡県朝倉市や大分県日田市で映画『ミニオンズ』の上映会を実施したり、震災後宮城県内では初となる公認フルマラソン大会「東北・みやぎ復興マラソン」(仙台放送主催)で、サザエさん一家のステージやグリーティングをサポートしました。



©長谷川町子美術館



BSフジでは、マラソンの模様を生中継、復興支援番組『東北魂TV』の出演者がランナーとして参加するなど盛り上げに貢献しました。

『JAグループスペシャル

東北・みやぎ復興マラソン2017 ～ともに、未来へ～

●放送日：2017年10月1日 13時00分～14時30分

フジ・メディア・ホールディングス各社

「ふくしま浜街道・桜プロジェクト」

株式会社 デイノス・セシール

福島に桜を植える活動を続けている「ふくしま浜街道・桜プロジェクト」に、フジ・メディア・ホールディングス (FMH) 各社は2013年度から協賛しています。2017年度はデイノスの顧客や、FMH各社などから合わせて155本分の桜の苗木を寄付し、これまでの合計は1,022本になりました。

2018年1月にFMH各社から14人で福島県南相馬市小高区で桜の苗木を植えました。



フジ・メディア・ホールディングス 合同清掃活動 [年3回]

毎年3回、フジ・メディア・ホールディングス各社の有志が集まり、お台場エリアの清掃活動を行っています。この活動は2012年10月から始まり、これまでに16回実施。

今ではすっかり定着し、参加者は毎回70人を超え、美しい街づくりに貢献しています。



2018年3月の清掃活動には、70リットルのゴミ袋18個分のゴミを回収

■テレビ局の仕事を知ってもらう取り組み

春休みこどもイベント

「フジテレビで遊ぼう！」～本物にふれるワクワク体験～

2018年3月お台場フジテレビ本社で、春休みこどもイベント「フジテレビで遊ぼう！」を2017年に引き続き開催しました。カメラなどの技術体験、中継車試乗体験、社内見学ツアーなど、テレビ局ならではの様々な催しを行い、約500人に楽しんでもらいました。



■視覚障害者のためのチャリティを40年以上継続

第43回 ラジオ・チャリティ・ミュージックソン

ラジオ・チャリティ・ミュージックソンは、ニッポン放送が1975年から行っている視覚障害者のためのチャリティ活動です。毎年クリスマス・イブからクリスマスにかけての24時間の特別番組を中心に、ラジオを通じて募金を呼びかけるもので、昨年第43回目。寄せられた募金は、「音の出る信号機」の設置や、視覚障害者用教育機器などに使われます。このラジオ・チャリティ・ミュージックソンへの協力をフジ・メディア・ホールディングス各社の有志で毎年継続しています。



- 実施日：2017年12月24日正午～25日正午 ●パーソナリティ：オードリー
- 募金受付期間：2017年11月1日～2018年1月31日

最終募金額 **7,212万8,547円**

1975年からの合計募金額は 44億9,332万17円

これまでに
3,094基の
「音の出る信号機」が
設置されました。



FNSチャリティキャンペーン

■2018年度の支援国

ロヒンギャ難民 in バングラデシュ



FNSチャリティキャンペーンは、世界の子どもたちの笑顔のために行っているチャリティ活動です。フジテレビ系列各社およびBSフジが放送などを通じて日本ユニセフ協会と連携し、40年以上にわたって実施しています。これまでの募金総額は約42億4,000万円。2017年度はボリビア多民族国の子どもたちを支援しました。



フジテレビジョン

2017年夏にミャンマーで激化した暴力により、少数民族のロヒンギャの人々が隣国のバングラデシュに逃れています。コックスバザール南部には、すでに地元住民を上回る68万8,000人以上の難民が押し寄せ、過密するキャンプや仮設住宅で避難生活を送っています。子ども72万人を含む120万人もの人々が、命と安全を守るための緊急の人道支援を必要としています。

●2017年度の募金総額

最終寄付金額 **3,657万1,662円**

集まった募金は公益財団法人日本ユニセフ協会を通じて、現地の子どもたちの支援のために活用されます。

フジサンケイグループ ■顕彰制度を通じて社会に貢献

高松宮殿下記念世界文化賞



「高松宮殿下記念世界文化賞」は、公益財団法人日本美術協会（総裁 常陸宮殿下）により1988年に創設された、全世界の芸術家を対象にした顕彰制度です。賞は絵画、彫刻、建築、音楽、演劇・映像の5部門で、受賞者には金メダルと賞金が授与されます。これまでの受賞者数は29ヶ国・149人で、世界の文化芸術の普及・向上に寄与しています。



地球環境大賞



「地球環境大賞」は、フジサンケイグループが「産業の発展と地球環境との共生」をめざし、世界自然保護基金（WWF）ジャパン（名誉総裁 秋篠宮殿下）の特別協力を得て、1992年に創設した産業界を対象とする顕彰制度です。2018年4月に第27回目の贈賞式が行われ、今では日本を代表する環境顕彰制度として広く社会に定着しています。

